

MONTHLY

# 神變別冊

## 宗派だより

令和5年3月号



令和五年三月六日発行  
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁

京都市伏見区  
醍醐東大路町二十二  
電話〇七五―五七一一―〇〇〇二

### 仁王会「国家安穩

去る二月二十三日、「京都に春を告げる」というフレーズが定着した「五大方さん」、正式には五大方尊仁王会が盛大に行われました。

仁王会とは、『仁王経』に説かれる五大方菩薩（金剛吼菩薩、龍王吼菩薩、無畏十力吼菩薩、雷電吼菩薩、無量力吼菩薩）の功德をたたえ、国家の安泰と万民の豊樂を祈る法会です。

『仁王経』は、『法華経』、『金光明経』とともに、鎮護国家の三部経の一つに数えられる経典です。仁王とはまさしく仁（有徳）の王者のことで、経典では、「王者が正しく仏法を守るならば、五大方菩薩がその国を護る」と説かれています。つまり国の中心となるべき人が仏法に帰依し、事を正しく行えば、国土・国政は安定し、してはそこに暮らす人々も幸福になるということを説いたものです。このことから、中国では古くからこの『仁王経』を人々に説き広めることが、国の安寧をもたらすという信仰のもと、仁王会が講じられてきました。日本にも弘法大師空海御誕生以前から既に伝えられており、天皇ご即位時の一代一講の法会、毎年の春秋期、七難が起こった時の臨時法会と、幾度となく修されてきました。醍醐寺においては開山聖宝尊師の頃より修されてきた法会です。

この『仁王経』には二種の翻訳が伝来されております。一つは「旧訳」と称される鳩摩羅什訳『佛説仁王般若波羅蜜経』、一つは「新訳」と称される不空三蔵訳『仁王護国般若波羅蜜多経』です。旧訳では五大方菩薩を本尊として掲げておりますが、新訳では『金剛頂経』・金剛界曼荼羅を取り入れて金剛界五菩薩を掲げ、さらにはその注釈本である『仁王般若念誦儀軌』において五大明王に置き換えられました。つまり不空三蔵の新訳では、金

### 万民豊樂」の祈り

剛界五菩薩が正法輪身として、五大明王が教令輪身として本尊に取り入れられました。そしてさらに空海は、この二種の輪身の基本となる自性輪身の五佛を加えます。そして五佛、五菩薩・五大明王などで編成される仁王経曼荼羅が完成します。

こうして元来の仁王会は、『仁王経』を百人の僧で講説する顕教系の法会でありましたが、次第に、旧訳の五大方菩薩を講説する系譜は受け継ぎながらも、新訳に基づいて、五壇法や四種法、大法を修し、陀羅尼を唱えるといった、密立の法会が主流となっていきました。やがて不動明王の信仰の広がりとともに、仁王会も広く民衆の信仰を集める法会となっていきました。

このような経緯によって、五佛・五菩薩・五明王のいずれを本尊にするかは法流によって異説ありますが、概ね廣澤方は般若菩薩を本尊とし、小野方は不動明王を本尊とし、醍醐においては般若菩薩を自性輪身の尊（他流では正法輪身の尊とされる）、不動明王を教令輪身の尊とした、般若不動合体尊を本尊とします。よって醍醐寺での仁王会の五大尊といえ、五大方菩薩であり、五大明王でもあります。また、広義で、三輪身説に依ったり、仁王経曼荼羅を観じるのであれば、五佛・五菩薩も含まれるのではないのでしょうか。

醍醐寺の仁王会は、五大方菩薩を祀り『仁王経』を誦し、大壇を構えて『仁王経法』を修し、陀羅尼を唱えらるといった、旧訳と新訳の形態を組み合わせた法会となっており、開山大師の頃から続いている国家安寧、萬民豊樂の祈りは今なお篤信の皆様の拠り所になっています。

皆様が一、心に力をもって平穩無事で幸せに暮らせますよう一心にお祈り申し上げます。

#### 今月の掲載内容

・仁王会	1
・「国家安穩 万民豊樂」の祈り	2
・録事	3
・宗派だより	3
・末寺・教会・醍醐寺だより	3
・本庁からのお知らせ	3
・醍醐寺からのお知らせ	3

#### 令和五年 告示第一号

真言宗醍醐派一般

宗教法人真言宗醍醐派規則第二章第六節及び同宗制第三章第六節の規定により、来る三月十四日第七十五次宗会を宗務本庁に招集する。会期は二日間とする。右記、告示する。

令和五年二月二十七日

真言宗醍醐派管長

大僧正 仲田順和

録事

▼度牒授与

修験籍

令和四年九月五日

新潟

森本 祐源

▼教師補任

修験籍

令和四年九月五日

権律師

新潟

森本 祐源

▼僧階昇補

本宗籍

令和四年十一月二十三日

中僧正

中僧正

権中僧正

権中僧正

権少僧正

十一月二十八日

中僧正

修験籍

令和四年十一月二十三日

権少僧正

権大僧都

権大僧都

大律師

大律師

律師

律師

律師

愛知

静岡

東京城

宮岡

静岡

東京城

権大僧都

権大僧都

権少僧正

権少僧正

十二月二十八日

三河東部

法林寺

大江 龍賢

▼住職・主管者退任

令和四年十二月十五日

北海道

十二月二十一日

福岡

福岡

新潟

令和四年十一月十九日

新潟

十二月二十一日

福岡

十二月二十八日

三河東部

三河東部

三河東部

令五年一月十日

三重

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

▼総代委嘱

令和四年十二月二十一日

福岡

福岡

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

山口

大久保龍鏡

岩熊大貴

田中晴美

河野三千年

川崎勇

浅野和可

浅野賀正

若林秀雄

田山壽彦

増田玲子

伊藤正修

久保正修

駒田敏博

駒田哲則

横山良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

駒田良昭

▼承認・証明

令和四年十二月二十九日

北海道

北海道

北海道

北海道

北海道

北海道

▼死亡

令和五年一月十一日

宮城

宮城

宮城

宮城

宮城

宮城

中僧都 黒田真祐

大僧都に贈補

同日付にて大僧都に贈補

同日付にて大僧都に贈補

同日付にて大僧都に贈補

同日付にて大僧都に贈補

同日付にて大僧都に贈補

同日付にて大僧都に贈補

### 宗派だより

#### 親授式

令和四年九月二十九日(木) 午前十一時から 金堂  
 徳島(直) 持正院 清水 理恵 大阪(直) 国分寺亀乃瀬教会 久米 持慧  
 令和四年十月二十九日(土) 午前十一時から 金堂  
 山口 小南寺 川野 宗久  
 令和五年一月二十九日(日) 午前十一時から 金堂  
 北海道 浄徳寺 地山 孝胤 三河東部 法嚴寺  
 三河東部 法林寺 大江 龍賢 福岡 新勝寺 大江 龍賢  
 田中 祐考

#### 醍醐寺アカデミー プレオープンテンプル

令和五年一月二十一日(土)  
 実施内容 法話・作務・食事・歴史・文化など  
 参加者 八名  
 令和四年度 教学研修会  
 令和五年一月二十四日(火)  
 講義内容

午前の部 講師…仲田順英総務部長 「恵印法流について」  
 午後の部 講師…藤澤寛秀醍醐寺参与 第一部「恵印法要次第の来歴」  
 第二部「恵印声明について」  
 第三部「恵印法要の所作について」

来山参加者 六名  
 Zom参加者(アーカイブ視聴者含む) 三十四名

#### 御修法新年総会および東日本大震災十三回忌慰霊法要

令和五年一月二十五日(水) 教王護国寺

#### 小委員会

令和五年一月二十七日(金) 醍醐寺研修棟

### 末寺・教会・醍醐寺だより

#### 醍醐寺文化財仏像調査

令和四年十二月九日(金) ～十二月十一日(日) 醍醐寺境内

#### 副島 弘道氏ほか三名 初祈祷・授戒会

令和五年一月五日(木) 午前十時 柴燈大護摩  
 午前十一時三十分 授戒会 伽藍 柴燈護摩道場  
 金堂

#### 初聖宝会

令和五年一月六日(金) 午前十一時 上醍醐 開山堂

#### 後七日御修法

令和五年一月八日(日) 開白  
 一月十四日(土) 結願

教王護国寺 住職 岩鶴密雄権大僧正  
 承仁…三重 服部快芳  
 承行…三重 田村真悠

#### 醍醐寺文書聖教指定調査

令和五年一月十六日(月) ～一月二十二日(日) 霊宝館

#### 醍醐寺霊宝館企画展

「醍醐寺の明王像」

令和五年二月一日(水) ～二月二十八日(火) 霊宝館

### 本庁からのお知らせ

#### 総務部より

寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。  
 また、責任役員・総代に欠員が生じた場合は、選定の届け出が必要になります。  
 宗務本庁では、任期満了になられる寺院・教会に届け出のご案内をいたしております。  
 す。速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

#### 財務部より

宗費賦課金をご納入いただきまして、誠に有り難うございます。  
 まだご納入されていない方は、なるべくお早めにご納入いただきますようお願い申し上げます。  
 ※納入期限は令和五年三月三十一日(金)となります。  
 「宗費割当額報告書」を未提出の宗務所様は早めにご提出してくださいますよう、お願い申し上げます。

僧階昇補などの各種申請や手続きの際には、宗費賦課金の未納金がございますと手続きすることができませんので、事前にご確認ください。  
 各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお願いいたします。

#### 教学部より

令和五年四月二十五日(火) 午前十時 醍醐山伝法学院 第九十一回生卒業式  
 令和五年五月六日(土) 午前十時 醍醐山伝法学院 第九十二回生入学式  
 令和五年五月十日(水) 三宝院流得度式 三宝院本堂

教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。  
 現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数でのご相談となりますので、是非お問い合わせください。

### 醍醐寺からのお知らせ

#### 第五十七回 京の冬の旅

主催…京都市/社京都市観光協会

醍醐寺三宝院公開・醍醐寺理性院初公開

令和五年一月七日(土) ～三月十九日(日)

#### 醍醐寺霊宝館春期特別展

「さくら舞う醍醐寺 ～太閤秀吉の花見～」

令和五年三月二十日(月) ～四月二十三日(日) 霊宝館

#### 桜会

令和五年四月一日(土) 午前十時 開白 大般若転読法要 伽藍 清瀧宮

令和五年四月十五日(土) 午前十時 中日 恵印法要 醍醐山青年連合会 伽藍 金堂

令和五年四月二十一日(金) 午前十時 結願 柴燈大護摩 伽藍 柴燈護摩道場

#### 釈尊降誕会

令和五年四月八日(土) 午前十時 伽藍 真如三昧耶堂

#### 豊太閤花見行列

令和五年四月九日(日) 午後一時 三宝院・伽藍

<p style="text-align: center;"><b>和光印刷株式会社</b></p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail: info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;"><b>杉本権七法衣店</b></p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;"><b>山城屋文政堂 藤井佐兵衛</b></p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;"><b>大住法衣店</b></p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail: oosumihoji@gmail.com</p>
---	---	---	---

<p style="text-align: center;"><b>大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</b></p> <p>〒638-0431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;"><b>林勘法衣店</b></p> <p>〒602-0874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail: hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;"><b>井筒法衣店</b></p> <p>〒600-18468 京都市下京区堀川通新花屋町角 (西本願寺前) TEL (075) 365-0001 FAX (075) 353-7021 フジヤル 0120-1075-1730</p>	<p style="text-align: center;"><b>田中伊雅佛具店</b></p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
--	--	--	--

<p style="text-align: center;"><b>松栄堂</b></p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-1559 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;"><b>今井半念珠店</b></p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-12557</p>	<p style="text-align: center;"><b>上田法衣佛具店</b></p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-13348 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;">毎月二十九日 国宝・五重大塔御開扉納経法要</p> <p>・午前十時三十分～ ・午後一時三十分～</p> <p>●当日、清瀧宮拝殿にて写経された方は、五重大塔御開扉法要中(約一時間)に、写経を奉納できます。 ●『高王十句観音経』写経奉納料 千円 ※なお、別途醍醐寺拝観料が必要です。</p>
---	--	--	--

**醍醐寺売店 今月のおすすめ品**

**【醍醐寺オリジナル フレグランスディフューザー】**



内容量／小瓶2.3ml×6本  
芳香時間／約1週間×6本  
箱サイズ／50×345×15mm  
販売価格／3,300円(税込)

満開のあとに儂く散る桜は、季節に対する感受性の象徴でもあります。華やかに情緒的に香る桜をイメージしています。

お問い合わせ先 三宝院売店  
TEL/FAX 075-571-0112



<https://daigoji-ugetsu.raku-uru.jp>

**醍醐山伝法学院寮監募集**

- 1 僧籍を有する方で、健康で信仰心があり、後進の育成に努力を惜しまない方
- 2 給与 17万円以上
- 3 住居を用意(山内居住の場合は居室を用意。また、通勤の場合は交通費を一部支給)
- 4 休日は年間75日、有給休暇法令通り付与
- 5 健康保険、厚生年金加入
- 6 勤務地は醍醐山伝法学院(修行道場)

※寮監の他、僧侶職員も募集しております。  
※募集要項詳細はお問い合わせください。  
京都市伏見区醍醐東大路町22 総本山 醍醐寺